

フリガナ	ミヨシ タカヤ		
氏名	三好 貴也		
生年月日	1995年12月3日 (満24歳)	性別	男
e-mail	takaya740@gmail.com	自宅電話	
現住所	〒781-2120 高知県吾川郡いの町枝川233-20セラヴィ210		
休暇中の連絡先	〒781-2120 高知県吾川郡いの町枝川233-20セラヴィ210		



年月	学歴・職歴
2011年4月 ~ 2014年3月	高知西高等学校 普通科
2014年4月 ~ 2019年3月	佐賀大学 文化教育学部 学校教育課程
2019年4月 ~ 2021年3月	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 社会文化学専攻

保有資格・スキル

普通自動車免許 (2014年12月)、TOEIC(R)Test 765点 (2020年3月)、英検2級 (2013年6月)、IELTS5.5 (2016年12月)、小学校教諭一種免許状 (2019年3月)、中学校教諭一種免許状 (社会科) (2019年3月)、高等学校教諭一種免許状 (地理歴史科) (2019年3月)

趣味・特技

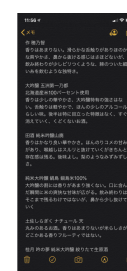
ヒッチハイク(2015年3月~現在までで140台の車に乗車)・ぬか漬けづくり(2017年6月~)・日本酒の勉強(2017年6月~)・靴磨き・ランニング・硬式テニス

学業、ゼミ、研究室などで取り組んだ内容

子供の個性を伸長する教育の実践方法についての研究に取り組んだ。自身のフィンランド教育留学の経験から、子供の個性と教育資源としての外的リソースとの関わりで因果関係があると考えたことが本研究のきっかけである。結果としてドイツ人哲学者であるヘーゲルの自由論を元にアプローチを行い、外的リソースとしてのヒト・モノ・コトとの接触を行った後に個人の思考を促すような意思決定の場面を設定することで人の個性は伸長していくという結論に至った。

自己PR

私は修正力がある人間である。課題を見つけた際に可能な限り修正するように取り組んできた。例としてフィンランド留学を経て始めた日本酒と糠漬けの勉強が挙げられる。留学中に外国人と接する中で、日本の文化について問われる場面が多々あったが当時の自分は日本で20年以上過ごしていながら日本文化について理解しておらず、多大なる未熟さを感じた。そこで、外国人に対して日本文化を伝えられるようにする為、自分が元々好んでいた日本酒と糠漬けの勉強を始めた。日本酒に関しては本を通しての勉強のみではなく自分の好きな日本酒の味を自分の言葉で伝えるために、飲んだ日本酒の感想を必ずメモするようにしてきた (現在約100個の感想)。糠漬けに関しても実際に自分で糠床を育てて作った漬物を日本在住の留学生に振る舞うようにしてきた。そのため以前よりも日本の文化に詳しくなったように思える。このように課題に対する修正力が自分の強みである。



日本酒の感想メモ

学生時代に最も打ち込んだこと

フィンランド教育留学 (3ヶ月小学校インターンシップ+6ヶ月大学交換留学) である。中でも北欧140人の小学生を対象に日本文化イベントを敢行することに最も注力した。現地にて教育を学ぶ一方で、日本人という私のルーツを生かして小学生を楽しませたいと考えたため、「書道」の魅力を伝えるイベントを企画した。その際、私の地元である高知県の町の土佐和紙を使用することで高知の文化も併せて伝えたいと考えた。2016年10月に現地からの町役場に協力を依頼し2ヶ月間交渉した結果、400枚の土佐和紙を寄付して頂き、書道と土佐和紙の魅力を日本から7500km離れたフィンランドにて伝えることができた。距離や立場を言い訳にせず行動し続けたことで成功したと考える。結果として隣国のスウェーデンでも授業をする機会を頂き、北欧で合計140人の子供に書道体験をしてもらうことで日本と北欧の国際交流が実現でき、自身の行動力を磨き上げる経験となった。



フィンランドの小学校にて書道の授業

企業記入欄
